

## ベナン月報(2017年12月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 26日, 国民議会において, 共和国警察(Police Républicaine)の新設に関わる法律が賛成54, 反対22で可決された。これにより, 2018年1月1日より警察と憲兵が統合され, 治安維持組織が新設されることになる。
- 28日, 国民議会は, 軍, 保健及び司法関係者のストライキを禁止する法案を可決した。

#### 【外政】

- 11日, ラガルド国際通貨基金(IMF)専務理事はタロン大統領を訪問し, 大統領の進める「政府行動計画」を評価し, 拡大クレジット・ファシリティ(ECF)のベナンへの融資について意見交換を行った。また, 同理事は, ベナンの2018年経済成長率は6%で, 2017年を上回るであろうと述べた。
- 18日, アベノンシ外務・協力大臣と小西駐ベナン日本国大使は, アトランティック県小学校建設計画に関わる交換公文の署名を行った。サリマヌ(M. Karimou SALIMANE)幼少・初等教育大臣も同署名式に参加した。72.85億 FCFA が供与され, アトランティック県に37の小学校220クラスが建設されることになる。
- 21日, アベノンシ外務・協力大臣は, トロスター(M. Achim Tröster)独大使と, 地方分権, 給排水, 農業の3分野に関わる協定について署名をした。総額は560億 FCFA に上る。

#### 【経済】

- 7日, ワダニ経済・財務大臣は, フランス開発庁(AFD)及びEU代表部と, 総額400億FCFA, 25MW供給可能となるポベ市太陽光発電所建設に関わる協定の署名式を行った。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, L'économiste 紙, La Nouvelle Tribune 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ 12日, 憲法裁判所は, 国民議会に対し, 恒久電子化選挙人名簿指導監督評議会(COS-LEPI)に21日までに評議会委員を設置し, 29日までに同評議会を設置しなければならない旨通知した。(14日, Nation 紙)
- ・ 22日, 国民議会において, タロン大統領は, 2017年の施政報告を行った。「政府行動計画」の各分野の進捗状況と今後の展望を中心に演説した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 26日, 国民議会において, 共和国警察(Police Républicaine)の新設に関わる法律が賛成54, 反対22で可決された。これにより, 2018年1月1日より警察と憲兵が統合され, 治安維持組織が新設されることになる。(27日, La Nation 紙)
- ・ 28日, 国民議会は, 軍, 保健及び司法関係者のストライキを禁止する法案を可決した。(29日, Le Matinal 紙)

## 【外政】

- ・ 11月29日, タムリン(Mme. Lucy TAMLYN)駐ベナン米大使は, ベナン軍の語学力向上のために, コトヌにある空軍基地及びポルトノボ士官学校へそれぞれ語学研究室を供与した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 3日, 国際通貨基金(IMF)は, 拡大クレジット・ファシリティ(ECF)の枠内で2, 258万 USD (130億 FCFA)をベナンに融資する旨発表した。古澤満宏 IMF 副専務理事はベナンへの融資の必要性を述べた。これにより, 対ベナン ECF 総額は4, 526万 USD に上る。(4日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 4日, 外務・協力省において, 2013年12月以来となる第二回ベナン・トルコ二国間協議が行われた。(5日, La Nation 紙)
- ・ 11日, ビオ・チャネ計画・開発担当国務大臣は, クリバリ(M.Siaka COULIBALY)UNDP 常駐代表と「気候変動リスクに対する地方ガバナンスシステムと農村開発の強化」計画に署名した。同計画は, 総額200億FCFAで, アブランク(Avrankou), ボイコン(Bohikcon), ボパ(Bopa), ウアケ(Ouaké), サバル(Savalou)市の5コミューン9村が対象となる。(13日, L' économiste 紙)
- ・ 11日, ラガルド国際通貨基金(IMF)専務理事はタロン大統領を訪問し, 大統領の進める「政府行動計画」を評価し, 拡大クレジット・ファシリティ(ECF)のベナンへの融資について意見交換を行った。また, 同理事は, ベナンの2018年経済成長率は6%で, 2017年を上回るであろうと述べた。(13日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 12日, 閣議にてハバナ(キューバ)駐在所の新設について承認された。駐ブラジル・ベナン大使館の下部組織となり, 主に保健, 教育及び文化分野での二国間協力の強化を目的としている。(15日, Le Matinal 紙)
- ・ 18日, アベノンシ外務・協力大臣と小西駐ベナン日本国大使は, アトランティック県小学校建設計画に関わる交換公文の署名を行った。サリマヌ(M. Karimou SALIMANE)幼少・初等教育大臣も同署名式に参加した。72. 85億 FCFA が供与され, アトランティック県に37の小学校220クラスが建設されることになる。(19日, La Nation 紙)
- ・ 18日, シャルケ(Mme. Katarina SHARKEY)世界銀行ベナン事務所代表は, ア・キ(M. Siengui A. Ki)西アフリカ電力取引システム(Eeeoa)事務局長と, 同システムへの追加支援に係わる署名式を本部であるコトヌで行った。同システムは加盟する西アフリカ14か国内で電力の売買をおこなうものであり, 今回は追加支援として, コートジボワール, リベリア, シエラ・リオネ及びギニアで総額1, 750万 USD, 225KW の電力網導入計画が展開されることになる。(19日, La Nation 紙)
- ・ 21日, アベノンシ外務・協力大臣は, トロスター(M. Achim Tröster)独大使と, 地方分権, 給排水, 農業の3分野に関わる協定について署名をした。総額は560億 FCFA に上る。(22日, La Nation 紙)

## 【治安】

- ・ 4日, コトヌ市の ORABANK 本部において, 火災が発生した。死亡者はいなかった。(6日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 6日, ウィダ市において, 象牙密輸の容疑者6人が逮捕された。(7日, Le Matinal 紙)
- ・ 8日, コトヌ市セベヤ(Ségbèya)地区にあるアタオ(M. Mohamed ATA O Hinnouho)国民議会議員の倉庫で家宅捜索が行われ, 50トンの違法医薬品が押収された。(11日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, ラフィア(M. Sacca LAFIA)内務・治安大臣は, 2017年度下期の治安・犯罪状況について記者会見を行った。不法薬品は, 上期の105トンに比べ183トン, 麻薬については, 上期の852キロに対し752キロをそれぞれ押収した。また, 交通事故に関しては, 上期5, 347件あったが, 下期は死者271人, 怪我人1, 531人を含む4, 202件であった。(22日, La Nation 紙)

## 【経済】

- ・ 5日, 中国代表団はカンディ市長を訪問し, ベナンでの農業の機械化を推し進めるため, 農業機械工場建設に関し意見交換を行った。(6日, L' économiste 紙)
- ・ 5日, ウス(M. Jean-Claude Houssou)エネルギー大臣は, アトランティック県での電気工事起工式及び施設引渡式を行った。アボメカラビのウエド(ouédo), アカサト(Akkasato)及びアラダ市ズンボメ(Zoungbomey)地区でそれぞれ行われた。(6日, La Nation 紙)
- ・ 7日, ワダニ経済・財務大臣は, フランス開発庁(AFD)及びEU代表部と, 総額400億FCFA, 25MW供給可能となるポベ市太陽光発電所建設に関わる協定の署名式を行った。ウス(M. Jean-Claude HOUSSE)エネルギー大臣, ブルモ(Mme. Véronique BRUMEAUX)駐ベナン仏大使, エ(M. Adrien HAYE)フランス開発庁代表, デリイデ(M. Lennart DERIDDER)駐ベナンEU代表部経済協力班長等が参加した。(8日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 5日, 6日に実施される天皇誕生日レセプションに先立ち, 小西駐ベナン日本国大使は, これまでのベナンにおける開発協力及び今後の方針について説明した。(6日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 11日, ジジャ(Djidja)市のセト中学校において, 日本の援助による校舎(7教室及び実験室)建設の署名式が行われた。供与額は約9, 700万 FCFA である。(13日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 13~15日, チュニジア・アフリカビジネス委員会は, コトヌにおいて, ベナン・チュニジア経済フォーラムを開催した。チュニジアから60名の企業家が参加した。また, チュニジアへの入国査証が不要になること, コトヌ-チュニス便が水・土に増便することが述べられた。(15日, L' Evénement Précis 紙)

## 【文化・その他】

- ・ 4日, キャンパスフランスは世界的ソムリエのパイヨット氏と共にワイン鑑定に関する講座

- を開催した。12人のベナン人学生が参加した。(5日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 6日, 駐ベナン日本大使館は同大使公邸において, 天皇誕生日レセプションを開催した。アベノシ外務・協力大臣はスピーチで, これまでの日本の様々な協力に感謝する旨述べた。(8日, L' Evénement Précis 紙)
  - ・ 9日, 中国文化センターにて, 2018年2月16日の中国の新年に合わせ「木の輝かしい色合い 中国新年版画展」の特別公開が行われた。2月26日まで約50の作品が展示される。(11日, La Nation 紙)
  - ・ 30日, 2017年ベナン空手選手権最終大会が行われた。県別対抗でリラル県が優勝した。(1月3日, Matin Libre 紙)